

参考資料 I

1. 県内原子力発電所の稼働状況

発電所名	項 目	25年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	26年1月	2 月	3 月	25年度合計	累計
敦賀 1 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	847.340
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.9%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.5%
敦賀 2 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,922.990
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	69.8%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	69.7%
美浜 1 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	638.011
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.5%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	49.4%
美浜 2 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,075.290
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.3%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	58.9%
美浜 3 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,780.238
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.5%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.9%
大飯 1 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	2,217.308
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.4%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.5%
大飯 2 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	2,407.950
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.6%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	68.1%
大飯 3 号機	発電電力量 (億kWh)	8.840	8.663	8.724	8.906	8.781	0.511	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	44.427	1,748.629
	時間稼働率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.5%	75.8%
	設備利用率 (%)	104.1%	98.7%	102.7%	101.5%	100.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	43.0%	75.9%
大飯 4 号機	発電電力量 (億kWh)	8.814	9.092	8.737	8.913	8.815	4.226	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	48.599	1,760.796
	時間稼働率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	49.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.0%	80.0%
	設備利用率 (%)	103.7%	103.6%	102.8%	101.5%	100.4%	49.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.0%	80.5%
高浜 1 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,838.691
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.0%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.5%
高浜 2 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,819.284
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.0%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	65.5%
高浜 3 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,726.715
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.8%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.5%
高浜 4 号機	発電電力量 (億kWh)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1,690.869
	時間稼働率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.4%
	設備利用率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.9%
県内合計	発電電力量 (億kWh)	17.654	17.756	17.461	17.820	17.597	4.737	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	93.027	21,474.116
	時間稼働率 (%)	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	66.5%
	設備利用率 (%)	21.7%	21.1%	21.5%	21.2%	21.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	67.9%

※発電電力量は切り捨て、時間稼働率・設備利用率は四捨五入

2. 事前了解（安全協定 第3条）

なし

3. 輸送関係連絡（安全協定 第5条）

（1）新燃料輸送

平成25年度の新燃料輸送は、輸送回数10回、総体数256体であった。

平成25年度 新燃料輸送実績

発電所名	輸送年月日 (到着日)	輸送 体数	輸送物	輸送 方法	輸送 元 ^(※1)	備考
美浜3号機	H25. 5. 14	18	A型	陸上	B	
	H25. 5. 17	18	A型	陸上	B	うち4体がガドリニア入り燃料
大飯3号機	H25. 5. 2	44	A型	陸上	B	うち40体がガドリニア入り燃料
	H25. 6. 26	24	A型	陸上	B	
	H25. 11. 14	20	A型	陸上	A	
大飯4号機	H25. 7. 12	24	A型	陸上	A	
	H25. 12. 4	28	A型	陸上	A	全てガドリニア入り燃料
高浜3号機	H25. 6. 27	20	BM型	海上	E	混合酸化物燃料
	H25. 11. 22	24	A型	陸上	D	
高浜4号機	H25. 10. 10	36	A型	陸上	D	うち24体がガドリニア入り燃料
	合計	256				

- ※ 平成26年3月に敦賀発電所2号機へ32体の新燃料集合体輸送を計画していたが、新燃料製造元と輸送時期の調整を行った結果、輸送時期を次年度以降に変更することとした。
- ※ 平成25年11月に大飯3号機へ44体（三菱原子燃料（株））、平成26年3月に大飯3号機へ48体（三菱原子燃料（株））、平成26年3月に大飯4号機へ68体（原子燃料工業（株））の新燃料集合体輸送を計画していたが、輸送時期の平準化を図るため、平成25年11月の大飯3号機への新燃料集合体輸送のうち20体のみを輸送することとし、残りの140体については次年度以降に輸送することとした。
- ※ 平成25年9月に高浜3号機において新燃料集合体24体（アレバNP社）の輸送を計画していたが、海上輸送航路の天候不順につき、輸送時期を平成25年11月に延期することとした。

輸送元 A：三菱原子燃料（株）（茨城県那珂郡東海村）
B：原子燃料工業（株）熊取事業所（大阪府泉南郡熊取町）
C：（株）グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン（神奈川県横須賀市）
D：アレバNP社（米国）
E：MELOX. S. A（仏国）

美浜3号機、および大飯発電所3、4号機の新燃料はすべて燃焼度55,000 MWd/t（高燃焼度燃料）であり、高浜発電所3、4号機の新燃料は燃焼度48,000MWd/t（MOX燃料の燃焼度は45,000MWd/t）である。

(2) 使用済燃料輸送

平成 25 年度は県内発電所における使用済燃料輸送は行われなかった。

(3) 低レベル放射性固体廃棄物の搬出

平成 25 年度は、美浜発電所、大飯発電所、高浜発電所から低レベル放射性廃棄物の充てん固化体ドラム缶 3,000 本が日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出された。

平成 25 年度 搬出実績

発電所名	輸送年月日 (搬出日) (*)	輸送 本数	輸送物	輸送 方法	輸送先	備考
美浜発電所	H25. 6. 23	504	IP-2 型	陸上海上	A	充てん固化体 504 本
大飯発電所	H25. 5. 14	1,000	IP-2 型	陸上海上	A	充てん固化体 1,000 本
高浜発電所	H25. 4. 20	1,496	IP-2 型	陸上海上	A	充てん固化体 1,496 本

輸送先 A 日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県上北郡六ヶ所村）

(*) 輸送年月日（搬出日）とは、輸送船出港日をいう。

(4) 放射性物質輸送連絡

発電所名	発送日	到着日	発送元	輸送先	輸送内容	輸送物	輸送目的
敦賀発電所	H26.2.12	H26.2.13	日本核燃料開発株式会社	敦賀発電所	実機部材の一部	L型	敦賀発電所1号機の実機部材(再循環ポンプ入口弁 弁体)を使用した熱脆化による劣化状況の調査が終了したため。
大飯発電所	H26.3.3	H26.3.4	ニュークリア・デベロップメント㈱	大飯発電所	原子炉容器照射試験片輸送容器および輸送容器用上部駆動装置	L型	大飯発電所3号機の原子炉容器照射試験片搬出および輸送容器取扱作業で使用するため。
	H26.3.13	H26.3.13	大飯発電所	ニュークリア・デベロップメント㈱	原子炉容器照射試験片	BM型	大飯発電所3号機の原子炉容器照射試験片の経年変化調査のため。
	H26.3.13	H26.3.14	大飯発電所	ニュークリア・デベロップメント㈱	原子炉容器照射試験片輸送容器用上部駆動装置	L型	大飯発電所3号機の原子炉容器照射試験片輸送容器取扱作業終了のため。
高浜発電所	H25.8.28	H25.8.30	高浜発電所	日本領海離脱	MOX新燃料輸送容器(空容器)	L型	高浜発電所3号機ウラン・プルトニウム混合酸化物燃料(MOX燃料)を取り出した後の空容器を返送するため。
	H25.9.24	H25.9.25	高浜発電所	ニュークリア・デベロップメント㈱	冷却材フィルタおよび金属配管	L型	高浜発電所1、2号機の充填固化体の既設スケーリングファクタ等に基づき影響評価のため。
	H26.3.6	H26.3.6	高浜発電所	山九㈱東京支店 お台場センター	MOX燃料ホルダーおよびハンドリングヘッド	L型	高浜発電所3号機MOX燃料集合体受入作業にて使用したMOX燃料ホルダーおよびハンドリングヘッドをメーカーに返送するため。
高速増殖原型炉もんじゅ	H25.12.17	H25.12.18	社団法人 日本アイソトープ協会	もんじゅ	表示付認証機器Cf-252密封線源	A型	原子力規制庁およびIAEAが行う保障措置査察時に、表示付認証機器の中性子線源(Cf-252密封線源)を使用するため。
原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)	H25.6.11	H25.6.11	関西国際空港	ふげん	非破壊分析測定装置	L型	米国ロス・アラモス国立研究所が開発中の使用済燃料体のプルトニウム量を測定する装置の実証実験をふげんにて実施するため。
	H25.9.29	H25.10.1	ふげん	東京港	重水	IP-3型	ふげんの重水を海外の原子力機関で再利用するため。
	H25.11.6	H25.11.7	ふげん	関西国際空港	非破壊分析測定装置	L型	米国ロス・アラモス国立研究所が開発中の使用済燃料体のプルトニウム量を測定する装置の実証実験に使用した非破壊分析測定装置を返送するため。
	H26.1.20	H26.1.21	日本核燃料開発株式会社	ふげん	照射済金属材料試験片	L型	関西電力株式会社原子力事業本部からの委託により、日本核燃料開発株式会社の放射線管理区域内に保管管理されている大飯発電所2号機シンプルチューブ鋼材の詳細分析を行うため。

4. 放射性廃棄物の放出・保管状況連絡（安全協定 第6条）

（1）発電所別放出・保管状況

a. 液体廃棄物（トリチウムを除く）放出実績

（単位：ベクレル）

発電所名		25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	平成 25年度	放出管理 目標値
敦賀発電所	1・2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.4E+10
原子炉廃止措置 研究開発センター （ふげん）	原子炉施設	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.8E+08
	重水精製建屋(※1)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	－	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高速増殖原型炉もんじゅ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.5E+09
美浜発電所	1・2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1E+11
	3号(※2)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
大飯発電所	1・2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.4E+11
	3・4号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高浜発電所	1・2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.4E+11
	3・4号(※3)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

※1：排水実績なし（平成26年1月分、3月分）

ND：検出限界未満

※2：3号機循環水ポンプ停止のため、連絡配管により1，2号排水口へ放出（平成24年9月13日～）

※3：排水実績なし（平成25年12月分 3、4号排水口）

b. 液体廃棄物（トリチウム）放出実績

（単位：ベクレル）

発電所名		25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	平成 25年度	放出管理 基準値
敦賀発電所	1・2号	3.1E+10	4.8E+10	3.2E+10	4.7E+10	3.4E+10	3.4E+09	2.9E+09	1.0E+10	1.2E+10	1.3E+08	ND	9.6E+10	3.2E+11	7.7E+13
原子炉廃止措置 研究開発センター （ふげん）	原子炉施設	1.1E+10	3.1E+10	5.3E+10	1.5E+11	7.7E+10	1.8E+11	1.1E+11	6.1E+10	8.6E+10	6.7E+10	1.7E+09	5.9E+10	8.9E+11	8.5E+12
	重水精製建屋(※1)	7.8E+08	2.9E+09	6.3E+08	3.7E+08	3.6E+08	2.6E+08	1.1E+08	1.1E+08	8.0E+07	－	3.4E+08	－	6.0E+09	1.3E+12
	計	1.2E+10	3.4E+10	5.4E+10	1.5E+11	7.7E+10	1.8E+11	1.1E+11	6.1E+10	8.6E+10	6.7E+10	2.0E+09	5.9E+10	8.9E+11	－
高速増殖原型炉もんじゅ		3.1E+06	ND	2.2E+07	3.0E+07	2.6E+07	2.9E+07	6.1E+06	ND	2.7E+06	1.1E+06	ND	ND	1.2E+08	9.2E+12
美浜発電所	1・2号	2.3E+11	1.2E+11	8.8E+11	5.1E+11	3.2E+11	2.3E+11	1.7E+11	ND	2.1E+12	8.7E+10	3.0E+11	3.8E+11	5.3E+12	1.2E+14
	3号(※2)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	2.3E+11	1.2E+11	8.8E+11	5.1E+11	3.2E+11	2.3E+11	1.7E+11	ND	2.1E+12	8.7E+10	3.0E+11	3.8E+11	5.3E+12	
大飯発電所	1・2号	3.6E+11	2.2E+11	3.5E+11	8.3E+11	3.5E+11	1.1E+11	3.7E+10	1.6E+11	1.4E+11	9.6E+10	1.2E+11	2.8E+11	3.1E+12	2.9E+14
	3・4号	1.3E+11	1.2E+13	5.2E+12	9.3E+12	1.4E+13	1.4E+13	2.0E+12	8.2E+10	1.1E+10	1.1E+10	3.1E+11	3.2E+11	5.7E+13	
	計	4.9E+11	1.2E+13	5.6E+12	1.0E+13	1.4E+13	1.4E+13	2.0E+12	2.4E+11	1.5E+11	1.1E+11	4.3E+11	6.0E+11	6.0E+13	
高浜発電所	1・2号	2.7E+11	1.7E+11	8.3E+06	5.1E+11	4.7E+10	4.6E+10	2.5E+10	3.8E+06	3.4E+10	6.0E+06	8.7E+06	3.6E+10	1.1E+12	2.2E+14
	3・4号(※3)	2.5E+11	7.1E+11	2.1E+11	2.5E+11	1.9E+11	3.1E+11	9.5E+10	6.0E+10	－	6.9E+10	2.8E+10	1.3E+11	2.3E+12	
	計	5.3E+11	8.8E+11	2.1E+11	7.6E+11	2.4E+11	3.6E+11	1.2E+11	6.0E+10	3.4E+10	6.9E+10	2.8E+10	1.7E+11	3.4E+12	

※1：排水実績なし（平成26年1月分、3月分）

ND：検出限界未満

※2：3号機循環水ポンプ停止のため、連絡配管により1，2号排水口へ放出（平成24年9月13日～）

※3：排水実績なし（平成25年12月分 3、4号排水口）

注）有効数字2桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

c. 気体廃棄物（希ガス）放出実績

（単位：ベクレル）

発電所名		25年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	26年 1 月	2 月	3 月	平成 25年度	放出管理 目標値
敦賀発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 7E+15
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	（※1）
高速増殖原型炉もんじゅ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8. 2E+13
美浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2. 1E+15
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	第2 固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
大飯発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4. 0E+15
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3. 3E+15
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃樹脂処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

（※1）原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）は、運転終了によって希ガスの放出がないため、放出管理目標値を設けていない。

ND：検出限界未満

注）有効数字2桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

d. 気体廃棄物（ヨウ素 1 3 1）放出実績

（単位：ベクレル）

発電所名		25年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	26年 1 月	2 月	3 月	平成 25年度	放出管理 目標値
敦賀発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3. 8E+10
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物焼却炉（※ 1）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	ND	ND	
	雑固体処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
原子炉廃止措置 研究開発センター （ふげん）	原子炉施設	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	（※ 2）
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高速増殖原型炉もんじゅ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 5E+08
美浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7. 3E+10
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	第 2 固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
大飯発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1. 0E+11
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	保修点検建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6. 2E+10
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃樹脂処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

（※ 1）焼却炉計画停止のため、排気筒からの放出なし（平成25年12月26日～平成26年3月23日）

ND：検出限界未満

（※ 2）原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）は、運転終了によってヨウ素の放出がないため、放出管理目標値を設けていない。

注）有効数字 2 桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

e. 気体廃棄物（ヨウ素１３３）放出実績

（単位：ベクレル）

発電所名		25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	平成 25年度
敦賀発電所	1号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	廃棄物焼却炉（※１）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	－	ND	ND
	雑固体処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
原子炉廃止措置 研究開発センター （ふげん）	原子炉施設	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
高速増殖原型炉もんじゅ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
美浜発電所	1号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	3号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	第2固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大飯発電所	1号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	3号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	4号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	保守点検建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
高浜発電所	1号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	3号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	4号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	廃樹脂処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

（※１）焼却炉計画停止のため、排気筒からの放出なし（平成25年12月26日～平成26年3月23日）

ND：検出限界未満

注）有効数字２桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

f. 気体廃棄物(トリチウム)放出実績

(単位：ベクレル)

発電所名		25年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26年 1月	2月	3月	平成 25年度	放出管理 基準値
敦賀発電所	1号	1.1E+09	1.2E+09	1.3E+09	1.9E+09	2.2E+09	2.4E+09	1.8E+09	1.5E+09	1.2E+09	1.1E+09	7.5E+08	5.8E+08	1.7E+10	—
	2号	1.0E+11	1.2E+11	1.9E+11	3.0E+11	3.6E+11	3.6E+11	3.1E+11	2.4E+11	1.9E+11	1.6E+11	1.1E+11	8.3E+10	2.5E+12	
	廃棄物焼却炉(※1)	5.2E+08	2.4E+08	3.4E+08	1.3E+08	3.8E+07	ND	ND	6.4E+08	3.3E+08	—	—	3.0E+07	2.3E+09	
	雑固体処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	1.1E+11	1.2E+11	2.0E+11	3.0E+11	3.6E+11	3.6E+11	3.1E+11	2.4E+11	1.9E+11	1.6E+11	1.1E+11	8.3E+10	2.5E+12	
原子炉廃止措置 研究開発センター (ふげん)	原子炉施設	1.2E+09	2.0E+09	6.0E+09	6.0E+09	6.6E+09	6.6E+09	4.2E+09	3.4E+09	3.5E+09	4.1E+09	4.8E+09	6.0E+09	5.4E+10	1.4E+13
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	5.6E+07	1.4E+08	ND	ND	ND	2.9E+08	ND	ND	4.9E+08	
	重水精製施設	5.0E+08	6.0E+08	6.3E+08	8.4E+08	8.8E+08	7.3E+08	6.2E+08	4.6E+08	3.8E+08	3.0E+08	3.1E+08	6.3E+08	6.9E+09	
	計	1.7E+09	2.6E+09	6.6E+09	6.8E+09	7.5E+09	7.5E+09	4.8E+09	3.9E+09	3.9E+09	4.7E+09	5.1E+09	6.6E+09	6.2E+10	
高速増殖原型炉もんじゅ	排気筒	1.9E+08	2.7E+06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.1E+07	7.4E+07	8.9E+06	3.5E+08	—
	その他	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	1.9E+08	2.7E+06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.1E+07	7.4E+07	8.9E+06	3.5E+08	
美浜発電所	1号	5.5E+10	6.7E+10	8.3E+10	9.2E+10	1.5E+11	1.4E+11	1.3E+11	1.1E+11	8.0E+10	6.9E+10	5.4E+10	5.2E+10	1.1E+12	—
	2号	9.1E+10	1.1E+11	1.2E+11	1.6E+11	1.9E+11	2.0E+11	2.2E+11	1.2E+11	9.7E+10	8.1E+10	6.8E+10	6.7E+10	1.5E+12	
	3号	1.2E+11	1.2E+11	1.4E+11	1.7E+11	2.0E+11	2.0E+11	1.6E+11	1.5E+11	1.2E+11	1.4E+11	1.8E+11	1.2E+11	1.8E+12	
	固体廃棄物処理建屋	2.2E+09	7.8E+08	1.1E+09	1.1E+09	9.4E+08	8.7E+08	7.1E+08	5.3E+08	3.1E+08	2.1E+08	3.5E+08	5.7E+08	9.7E+09	
	第2固体廃棄物処理建屋	2.5E+09	1.7E+09	1.3E+09	1.4E+09	2.3E+09	1.8E+09	1.6E+09	1.9E+09	2.5E+09	4.8E+09	4.7E+09	6.5E+09	3.3E+10	
	計	2.7E+11	3.0E+11	3.5E+11	4.3E+11	5.4E+11	5.4E+11	5.1E+11	3.8E+11	3.0E+11	2.9E+11	3.1E+11	2.5E+11	4.5E+12	
大飯発電所	1号	2.0E+11	2.3E+11	3.4E+11	4.4E+11	5.3E+11	4.7E+11	4.4E+11	3.6E+11	2.2E+11	1.6E+11	1.3E+11	1.5E+11	3.7E+12	—
	2号	2.7E+10	2.2E+10	1.9E+10	2.4E+10	3.5E+10	2.2E+10	2.2E+10	2.1E+10	2.1E+10	1.7E+10	1.7E+10	1.9E+10	2.7E+11	
	3号	5.4E+10	5.8E+10	1.0E+11	1.3E+11	1.9E+11	4.1E+11	3.0E+11	3.1E+11	1.9E+11	1.1E+11	8.9E+10	1.4E+11	2.1E+12	
	4号	6.8E+10	7.2E+10	9.5E+10	1.5E+11	2.1E+11	2.5E+11	3.0E+11	2.8E+11	2.7E+11	1.6E+11	1.1E+11	1.3E+11	2.1E+12	
	固体廃棄物処理建屋	4.1E+09	2.8E+09	2.0E+09	3.7E+09	4.5E+09	1.5E+09	6.0E+09	5.9E+09	4.2E+09	9.9E+09	9.5E+09	8.2E+09	6.2E+10	
	廃棄物処理建屋	3.2E+08	3.1E+08	1.4E+08	4.1E+08	9.8E+08	7.4E+10	4.9E+08	3.5E+09	3.5E+09	2.3E+10	5.4E+08	8.4E+08	1.1E+11	
	計	3.5E+11	3.9E+11	5.6E+11	7.4E+11	9.7E+11	1.2E+12	1.1E+12	9.8E+11	7.1E+11	4.7E+11	3.5E+11	4.5E+11	8.3E+12	
高浜発電所	1号	1.4E+11	1.7E+11	1.7E+11	2.1E+11	2.4E+11	2.1E+11	1.8E+11	1.4E+11	1.2E+11	9.1E+10	7.4E+10	8.9E+10	1.8E+12	—
	2号	1.1E+11	1.3E+11	1.3E+11	1.6E+11	1.7E+11	1.6E+11	1.3E+11	1.1E+11	9.0E+10	6.6E+10	4.9E+10	6.1E+10	1.4E+12	
	3号	1.5E+11	1.7E+11	2.0E+11	2.0E+11	2.5E+11	2.4E+11	2.0E+11	1.8E+11	1.3E+11	1.1E+11	5.9E+10	7.1E+10	2.0E+12	
	4号	9.4E+10	1.2E+11	1.2E+11	1.3E+11	1.7E+11	1.7E+11	1.5E+11	1.5E+11	8.4E+10	6.0E+10	4.8E+10	5.1E+10	1.4E+12	
	廃棄物処理建屋	2.0E+10	1.4E+11	3.5E+11	9.0E+10	1.3E+10	1.4E+08	5.0E+08	3.1E+08	1.3E+09	1.6E+10	5.8E+08	1.4E+08	6.3E+11	
	廃樹脂処理建屋	4.6E+09	3.5E+09	2.3E+09	1.9E+09	2.2E+09	3.9E+09	3.4E+09	3.2E+09	3.2E+09	4.0E+09	3.3E+09	4.2E+09	4.0E+10	
	計	5.2E+11	7.3E+11	9.7E+11	7.9E+11	8.5E+11	7.9E+11	6.7E+11	5.8E+11	4.3E+11	3.4E+11	2.3E+11	2.8E+11	7.2E+12	

(※1) 焼却炉計画停止のため、排気筒からの放出なし(平成25年12月26日～平成26年3月23日)

ND：検出限界未満

注) 有効数字2桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

g. 気体廃棄物(全粒子状物質)放出実績

(単位：ベクレル)

発電所名		25年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	26年 1 月	2 月	3 月	平成 25年度	放出管理 目標値
敦賀発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物焼却炉（※1）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	
	雑固体処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
原子炉廃止措置 研究開発センター (ふげん)	原子炉施設	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.0E+09
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	重水精製施設	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高速増殖原型炉もんじゅ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
美浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	第2固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
大飯発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	固体廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	保修点検建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
高浜発電所	1 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
	2 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	3 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	4 号	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃棄物処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	廃樹脂処理建屋	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	計	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

(※1) 焼却炉計画停止のため、排気筒からの放出なし（平成25年12月26日～平成26年3月23日）

ND：検出限界未満

注）有効数字2桁で処理しているため、合計はあわないことがある。

h 平成25年度 固体廃棄物発生量（200リットルドラム缶本数）

発電所名		内 訳	平成24年度		平成25年度							貯蔵能力	貯蔵余裕
			年 度 合 計	累積保管 ・搬出量	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年 度 合 計	累 積 保管量			
敦 賀 発電所	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	3,016	—	979	732	1,038	1,084	3,833	—	85,000	16,405	
		(a)濃縮廃液	85	2,508	0	8	12	20	40	2,548			
		(b)雑固体廃棄物	167	30,049	107	40	162	268	577	27,274			
		(c)その他	2,764	37,461	872	684	864	796	3,216	38,773			
		焼却量(B=d+e)	3,107	—	1,573	1,131	1,248	620	4,572	—			
		(d)雑固体廃棄物	2,159	—	1,069	835	768	556	3,228	—			
		(e)その他	948	—	504	296	480	64	1,344	—			
		減容処理量(C)	—	—	184	176	172	152	684	—			
		埋設処分搬出量(D)	0	6,624	0	0	0	0	0	6,624			
		計(A-B-C-D)	-91	70,018	-778	-575	-382	312	-1,423	68,595			
	上蓋保管庫	発生量(m ³)	0	170	0	0	0	0	0	170	200	30	
原 子 炉 廃止措置 研究開発 センター (ふげん)	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	604	—	51	91	109	155	406	—	21,500	2,526	
		(a)濃縮廃液	0	2,016	0	0	0	0	0	2,016			
		(b)雑固体廃棄物	112	6,917	15	31	25	35	106	6,718			
		(c)その他	492	10,356	36	60	84	120	300	10,240			
		焼却量(B=d+e)	516	—	348	178	90	105	721	—			
		(d)雑固体廃棄物	4	—	60	82	90	73	305	—			
		(e)その他	512	—	288	96	0	32	416	—			
		埋設処分搬出量(C)	—	—	—	—	—	—	—	—			
		計(A-B-C)	88	19,289	-297	-87	19	50	-315	18,974			
高速増殖 原 型 炉 もんじゅ	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	180	—	0	60	0	104	164	—	23,000	17,436	
		(a)濃縮廃液	0	20	0	0	0	0	0	20			
		(b)雑固体廃棄物	4	2,924	0	0	0	0	0	2,924			
		(c)その他	176	2,456	0	60	0	104	164	2,620			
		焼却量(B=d+e)	0	—	0	0	0	0	0	—			
		(d)雑固体廃棄物	0	—	0	0	0	0	0	—			
		(e)その他	0	—	0	0	0	0	0	—			
		埋設処分搬出量(C)	—	—	—	—	—	—	—	—			
		計(A-B-C)	180	5,400	0	60	0	104	164	5,564			
美 浜 発電所	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	4,209	—	977	836	1,109	1,377	4,299	—	35,000	6,687	
		(a)濃縮廃液	40	2,256	0	16	24	0	40	2,296			
		(b)雑固体廃棄物	4,121	22,610	959	808	1,046	1,374	4,187	22,762			
		(c)その他	48	3,234	18	12	39	3	72	3,255			
		焼却量(B=d+e)	1,861	—	274	364	130	104	872	—			
		(d)雑固体廃棄物	1,814	—	274	364	80	104	822	—			
		(e)その他	47	—	0	0	50	0	50	—			
		減容処理量(C)	945	—	662	260	972	815	2,709	—			
		埋設処分搬出量(D)	1,944	23,856	504	0	0	0	504	24,360			
		計(A-B-C-D)	-541	28,100	-463	212	7	458	214	28,313			
	SG保管庫	発生量(m ³)	0	966	0	0	0	0	0	966	1,200	234	
大 飯 発電所	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	2,570	—	1,030	1,199	1,276	918	4,424	—	38,900	6,768	
		(a)濃縮廃液	114	3,720	6	33	13	31	83	3,803			
		(b)雑固体廃棄物	2,432	23,670	1,024	1,165	1,259	868	4,316	23,415			
		(c)その他	24	5,312	0	1	4	19	25	4,914			
		焼却量(B=d+e)	0	—	0	0	0	423	423	—			
		(d)雑固体廃棄物	0	—	0	0	0	0	0	—			
		(e)その他	0	—	0	0	0	423	423	—			
		減容処理量(C)	1,157	—	732	1,212	967	660	3,571	—			
		埋設処分搬出量(D)	2,032	21,984	1,000	0	0	0	1,000	22,984			
		計(A-B-C-D)	-619	32,702	-702	-13	309	-165	-570	32,132			
	SG保管庫	発生量(m ³)	0	2,674	0	0	0	0	0	2,674	3,160	486	
高 浜 発電所	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	4,062	—	1,079	1,632	643	294	3,649	—	50,600	3,984	
		(a)濃縮廃液	54	4,779	4	0	4	22	30	4,809			
		(b)雑固体廃棄物	3,961	39,516	1,069	1,593	634	272	3,568	38,888			
		(c)その他	47	3,565	6	39	5	0	51	2,919			
		焼却量(B=d+e)	759	—	72	24	192	847	1,135	—			
		(d)雑固体廃棄物	737	—	72	24	192	150	438	—			
		(e)その他	22	—	0	0	0	697	697	—			
		減容処理量(C)	1,977	—	582	720	576	384	2,262	—			
		埋設処分搬出量(D)	2,000	18,496	1,496	0	0	0	1,496	19,992			
		計(A-B-C-D)	-674	47,860	-1,071	888	-125	-937	-1,244	46,616			
	SG保管庫	発生量(m ³)	0	894	0	0	0	0	0	894	1,250	356	
県内合計	廃棄物庫 保 管	発生量(A=a+b+c)	14,641	—	4,116	4,550	4,175	3,932	16,775	—	254,000	53,806	
		(a)濃縮廃液	293	15,299	10	57	53	73	193	15,492			
		(b)雑固体廃棄物	10,797	125,686	3,174	3,637	3,126	2,817	12,754	121,981			
		(c)その他	3,551	62,384	932	856	996	1,042	3,828	62,721			
		焼却量(B=d+e)	6,243	—	2,267	1,697	1,660	2,099	7,723	—			
		(d)雑固体廃棄物	4,714	—	1,475	1,305	1,130	883	4,793	—			
		(e)その他	1,529	—	792	392	530	1,216	2,930	—			
		減容処理量(C)	4,079	—	2,160	2,368	2,687	2,011	9,226	—			
		埋設処分搬出量(D)	5,976	70,960	3,000	0	0	0	3,000	73,960			
		計(A-B-C-D)	-1,657	203,368	-3,311	485	-172	-178	-3,174	200,194			
	SG保管庫	発生量(m ³)	0	4,534	0	0	0	0	0	4,534	5,610	1,076	

注 1：「その他」は200リットルドラム缶換算の値。なお、端数処理の影響で月別合計値と3ヶ月および年間合計値の数値が一致しない場合がある。

注 2：「累積保管量欄」の濃縮廃液、雑固体廃棄物、その他の各量は、発生量から焼却、減容処理等による減容量分、埋設処分搬出量を差し引いた量であり、その合計量を合計欄に記載している。

注 3：貯蔵能力数内訳：敦賀発電所(A：15,000、B：20,000、C：50,000)、ふげん(第1：8,500、第2：13,000)

高速増殖原型炉もんじゅ(23,000)、美浜発電所(第1：4,500、第2：4,500、第3：8,000、第4：18,000)

大飯発電所(A：16,200、B：2,700、C：20,000)、高浜発電所(A：10,000、B：600、C：20,000、D：20,000)

注 4：敦賀、美浜、大飯、高浜発電所の雑固体廃棄物数量は、充填固化体数量を含む。

注 5：上蓋保管庫及びSG保管庫への貯蔵には原子炉設置変更許可が必要となる。

注 6：敦賀発電所は雑固体廃棄物の処理の効率化を図るため、平成25年7月からプラズマ熔融減容固化処理に加え、直接充てん固化処理を実施
減少量をまとめて「減容処理量(C)」に計上

(2) 使用済燃料貯蔵状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

発電所 号機	炉心装荷 燃料体数	使用済燃料 貯蔵容量 (体数)	使用済燃料 貯蔵体数 ^{*1} (体数)	備 考
敦賀 1 号機	3 0 8	1, 2 1 1 ^{*2}	4 4 8	
敦賀 2 号機	1 9 3	1, 7 3 4	1, 0 9 4	
もんじゅ	3 7 0	1, 4 1 2	1 2 0	
ふげん	—	7 3 0	4 6 6	
美浜 1 号機	1 2 1	2 8 8	1 0 2	3 号機ピットは、 1, 2 号機と共用化 ^{*3}
美浜 2 号機	1 2 1	5 5 5	2 7 9	
美浜 3 号機	1 5 7	1, 1 1 8 ^{*4}	5 6 2	
大飯 1, 2 号機	193×2 炉心	7 0 4	2 4 3	3, 4 号機ピットは、 1, 2 号機と共用化 ^{*6}
大飯 3 号機	1 9 3	2, 1 2 9 ^{*5}	1, 4 3 4	
大飯 4 号機	1 9 3	2, 1 2 9 ^{*5}	1, 4 5 5	
高浜 1 号機	1 5 7	4 2 4	1 3 8	3, 4 号機ピットは、 1～4 号機で共用化 ^{*8}
高浜 2 号機	1 5 7	4 2 4	5 8	
高浜 3 号機	1 5 7	1, 7 6 9 ^{*7}	1, 1 0 9	
高浜 4 号機	1 5 7	1, 7 6 9 ^{*7}	1, 2 4 6	
県内合計		1 6, 3 9 6	8, 7 5 4	

《備考》

- * 1 使用済燃料貯蔵体数は、再処理用と再利用用とを含めた体数。
ただし、定期検査で取出中の燃料体数は除く。
- * 2 敦賀 2 号機の使用済燃料ピットにある 1 号機用スペースの貯蔵容量 637 体を含む。
- * 3 美浜 1, 2 号機の燃料については、3 号機のプールを使用して貯蔵可能。
- * 4 美浜 3 号機は、使用済燃料貯蔵設備増強工事を実施し、貯蔵容量が 424 体から 1,118 体となった。
(平成 13 年 8 月完成)
- * 5 大飯 1, 2 号機の燃料については、3 号機と 4 号機のプールを使用して貯蔵可能。
- * 6 大飯 3 号機と 4 号機は、使用済燃料貯蔵設備増強工事を実施し、貯蔵容量がそれぞれ 974 体から 2,129 体となった。(大飯 3 号機：平成 13 年 2 月完成 大飯 4 号機：平成 13 年 7 月完成)
- * 7 高浜 1, 2 号機の燃料については、3 号機と 4 号機のプールを使用して貯蔵可能。
- * 8 高浜 3 号機と 4 号機は、使用済燃料貯蔵設備増強工事を実施し、貯蔵容量がそれぞれ 1,188 本から 1,769 本となった。(高浜 3 号機：平成 18 年 7 月完成 高浜 4 号機：平成 17 年 7 月完成)

(3) 線量評価

各発電所について、放射性気体廃棄物および液体廃棄物の放出量をもとに、『発電用軽水炉型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針』に示された評価方法により、各評価地点における線量の計算結果を以下に示す。

各発電所における一般公衆の実効線量の評価

a. 放射性気体廃棄物による実効線量

		敦賀 発電所	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所	原型炉 もんじゅ	ふげん
放射性希ガス による 実効線量	周辺監視区域外における 最大線量 ($\mu\text{Sv/年}$)	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1
	排気筒からの方位	南	北北西	東南東	南南東	東南東	北西
	排気筒からの距離 ($\times 10^{-1}\text{ km}$)	5.5	7.5	5.3	8.3	6.9	4.9
	線量目標値評価地点 における最大線量 ($\mu\text{Sv/年}$)	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1
	排気筒からの方位	南南東	北北西	南南東	南南東	東南東	南東
	排気筒からの距離 ($\times 10^{-1}\text{ km}$)	9.4	7.5	7.6	8.3	6.9	11.85
放射性ヨウ素 による 実効線量	線量目標値評価地点 における最大線量 ($\mu\text{Sv/年}$)	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1

b. 放射性液体廃棄物による実効線量

	敦賀 発電所	美浜 発電所	大飯 発電所	高浜 発電所	原型炉 もんじゅ	ふげん
放射性液体廃棄物による実効線量当量 ($\mu\text{Sv/年}$)	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1	< 1

この計算結果では、すべての評価地点における線量が1マイクロシーベルト／年以下であることが確認された。

また、福井県環境放射能測定技術会議による原子力発電所周辺環境の放射能（線）調査の結果、発電所周辺での線量評価では公衆の実効線量限度許容被ばく線量1ミリシーベルト／年をはるかに下回っており、線量目標値50マイクロシーベルト／年と比較しても十分低いことが確認されている。

福井県環境放射能測定技術会議平成 25 年度年報からの抜粋

検出値の実効線量換算値

	外部被ばく (ミリシーベルト／年)			内部被ばくの預託実効線量* ² (ミリシーベルト／年)				
	放出量から 計算によっ て求めた 外部被ばく	積算線量 の調査 結果* ¹	放射線監視 テレメタシステム による推定 線量	呼吸	飲料水	葉菜	牛乳	海産物
敦賀発電所 ふげん	0.001 以下	—	—	0.001 以下* ³	—	—	—	—
美浜発電所		—	—		—	—	—	—
大飯発電所		—	—		—	—	—	—
高浜発電所		—	—		—	—	—	—
もんじゅ		—	—		—	—	—	—
参考 核実験影響等* ⁴	／	—	—		0.001 以下* ³	0.001 以下	0.001 以下	0.001 以下

(注) —は検出限界値未満。／は調査対象外であることを示す。

* 1 : 検出限界は、ほぼ 0.05 ミリシーベルト／年。

* 2 : 1 年間の摂取に基づく、摂取後 50 年間にわたって個人が受ける積算の線量。

計算の基礎として指標植物（ヨモギ）および指標海産生物（ホンダワラ）を含む。

* 3 : 各発電所近傍で観測した大気中水分等のトリチウムによるもの。

* 4 : 福島第一原子力発電所事故影響のセシウム-137、セシウム-134 および過去の核実験影響のセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムによるもの。

5. 放射線作業従事者の被ばく状況連絡（安全協定 第6条）

（1）発電所別被ばく管理状況

a. 敦賀発電所

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布（人）												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4月 ～ 6月	社 員	338	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	338	0.00	0.0	0.12
	請負等	803	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	803	0.00	0.0	0.31
	計	1,141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,141	0.01	0.0	0.31
7月 ～ 9月	社 員	328	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	328	0.01	0.0	0.21
	請負等	866	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	866	0.03	0.0	1.77
	計	1,194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,194	0.03	0.0	1.77
10月 ～ 12月	社 員	317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	317	0.01	0.0	0.72
	請負等	1,019	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,022	0.08	0.1	5.95
	計	1,336	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,339	0.06	0.1	5.95
1月 ～ 3月	社 員	304	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	304	0.01	0.0	0.87
	請負等	1,332	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,337	0.25	0.2	7.74
	計	1,636	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,641	0.26	0.2	7.74

平成25年度

区分	線 量 分 布（人）												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	407	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	407	0.02	0.1	1.75
請負等	1,790	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,799	0.36	0.2	14.65
計	2,197	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2,206	0.39	0.2	14.65

b. 美浜発電所

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4 月 ～ 6 月	社 員	341	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	341	0.00	0.0	0.6
	請負等	1,007	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,007	0.07	0.1	2.4
	計	1,348	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,348	0.07	0.1	2.4
7 月 ～ 9 月	社 員	343	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	343	0.00	0.0	0.7
	請負等	1,152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,152	0.04	0.0	1.8
	計	1,495	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,495	0.05	0.0	1.8
10月 ～ 12月	社 員	353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353	0.00	0.0	0.2
	請負等	1,193	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,193	0.05	0.0	1.3
	計	1,546	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,546	0.05	0.0	1.3
1 月 ～ 3 月	社 員	331	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	331	0.00	0.0	0.3
	請負等	1,267	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,267	0.04	0.0	1.1
	計	1,598	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,598	0.05	0.0	1.1

平成 2 5 年度

区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	451	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	451	0.01	0.0	0.8
請負等	1,887	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,887	0.20	0.1	3.4
計	2,338	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,338	0.22	0.1	3.4

c. 大飯発電所

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4 月 ～ 6 月	社 員	426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	426	0.02	0.0	0.6
	請負等	1,790	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,790	0.22	0.1	4.7
	計	2,216	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,216	0.24	0.1	4.7
7 月 ～ 9 月	社 員	412	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	412	0.02	0.1	0.8
	請負等	2,644	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,645	0.54	0.2	5.6
	計	3,056	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,057	0.56	0.2	5.6
10月 ～ 12月	社 員	411	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	411	0.03	0.1	1.2
	請負等	2,804	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,811	0.90	0.3	8.9
	計	3,215	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,222	0.93	0.3	8.9
1 月 ～ 3 月	社 員	408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	408	0.02	0.0	0.7
	請負等	2,551	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,551	0.33	0.1	3.6
	計	2,959	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,959	0.35	0.1	3.6

平成 2 5 年度

区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	520	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	520	0.09	0.2	2.5
請負等	4,286	35	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4,325	1.99	0.5	12.5
計	4,806	35	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4,845	2.08	0.4	12.5

d. 高浜発電所

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4 月 ～ 6 月	社 員	448	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448	0.01	0.0	0.4
	請負等	2,157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,157	0.22	0.1	3.8
	計	2,605	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,605	0.23	0.1	3.8
7 月 ～ 9 月	社 員	439	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	439	0.01	0.0	0.3
	請負等	1,882	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,882	0.12	0.1	4.0
	計	2,321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,321	0.13	0.1	4.0
10月 ～ 12月	社 員	444	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	444	0.00	0.0	0.5
	請負等	1,557	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,557	0.08	0.0	1.8
	計	2,001	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,001	0.08	0.0	1.8
1 月 ～ 3 月	社 員	419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	419	0.01	0.0	0.7
	請負等	2,220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,220	0.28	0.1	4.1
	計	2,639	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,639	0.28	0.1	4.1

平成 2 5 年度

区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	554	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	554	0.03	0.0	0.9
請負等	3,525	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,526	0.69	0.2	5.3
計	4,079	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,080	0.72	0.2	5.3

e. 高速増殖原型炉もんじゅ

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4 月 ～ 6 月	社 員	324	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	324	0.00	0.0	0.00
	請負等	494	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	494	0.00	0.0	0.00
	計	818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	818	0.00	0.0	0.00
7 月 ～ 9 月	社 員	331	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	331	0.00	0.0	0.00
	請負等	659	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	659	0.00	0.0	0.00
	計	990	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	990	0.00	0.0	0.00
10月 ～ 12月	社 員	372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372	0.00	0.0	0.00
	請負等	685	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	685	0.00	0.0	0.00
	計	1,057	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,057	0.00	0.0	0.00
1 月 ～ 3 月	社 員	369	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369	0.00	0.0	0.00
	請負等	678	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	678	0.00	0.0	0.00
	計	1,047	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,047	0.00	0.0	0.00

平成 2 5 年度

区分	線 量 分 布 (人)												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	411	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	411	0.00	0.0	0.00
請負等	915	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	915	0.00	0.0	0.00
計	1,326	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,326	0.00	0.0	0.00

f. 原子力廃止措置研究開発センター（ふげん）

四半期実績

期間	区分	線 量 分 布（人）												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
		5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
4月 ～ 6月	社 員	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	0.01	0.1	1.33
	請負等	290	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	290	0.01	0.0	2.06
	計	399	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	399	0.02	0.1	2.06
7月 ～ 9月	社 員	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	0.01	0.1	1.31
	請負等	276	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	276	0.02	0.1	1.73
	計	381	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	381	0.03	0.1	1.73
10月 ～ 12月	社 員	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0.01	0.1	2.56
	請負等	334	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	334	0.06	0.2	3.44
	計	442	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	442	0.07	0.2	3.44
1月 ～ 3月	社 員	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106	0.00	0.0	1.02
	請負等	282	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	282	0.01	0.0	1.07
	計	388	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	388	0.01	0.0	1.07

平成25年度

区分	線 量 分 布（人）												総線量 (人・Sv)	平 均 線 量 (mSv)	最 高 線 量 (mSv)
	5mSv 以下	5-10 mSv	10-15 mSv	15-20 mSv	20-25 mSv	25-30 mSv	30-35 mSv	35-40 mSv	40-45 mSv	45-50 mSv	50mSv を超える	合計			
社 員	120	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121	0.04	0.3	5.80
請負等	444	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	445	0.10	0.2	5.58
計	564	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	566	0.13	0.2	5.80

g. 県内全施設
四半期実績

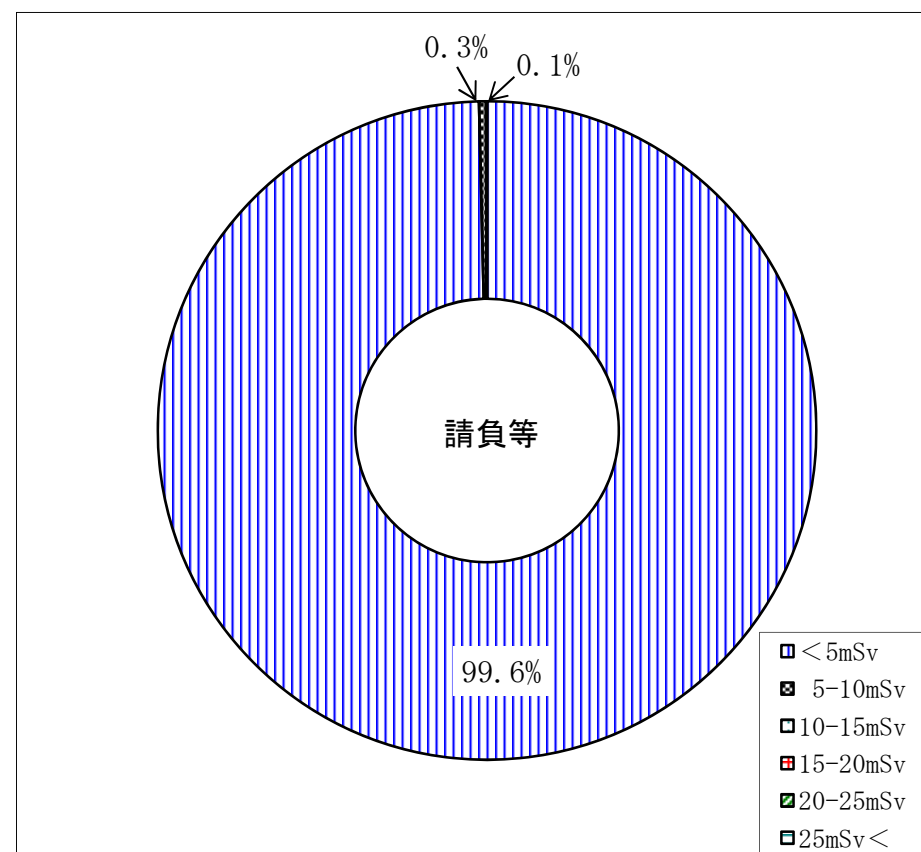
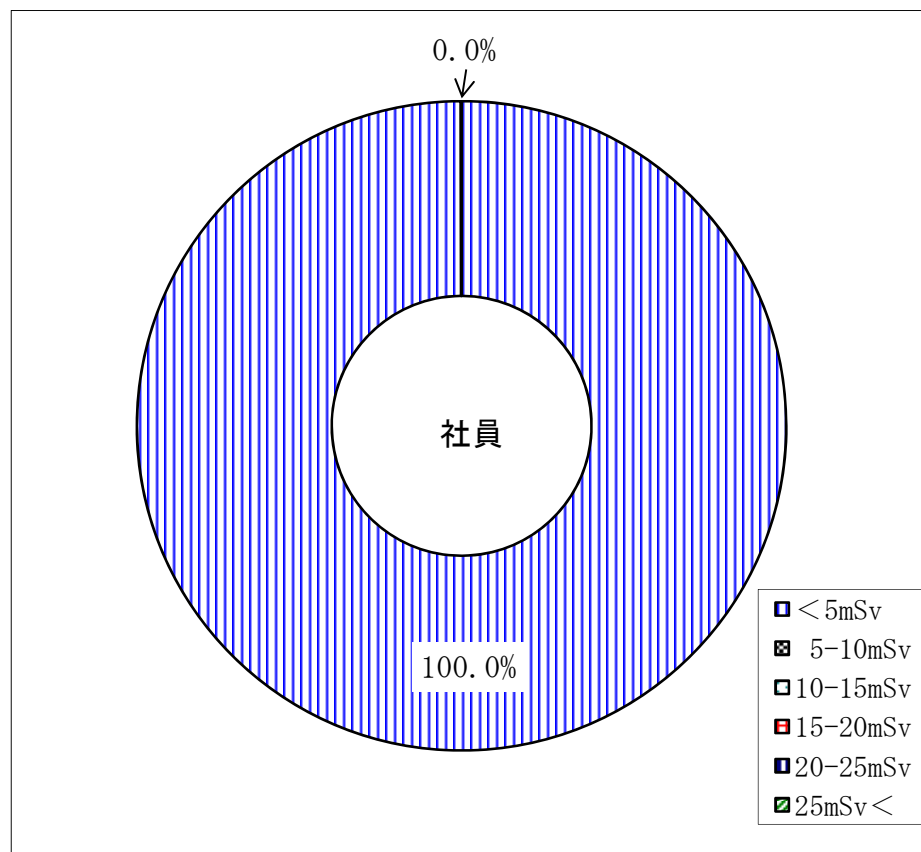
[illegible]

平成25年度

[illegible]

(2) 線量区分別作業員数の割合

平成25年度 県内全発電所の線量区分別従事者数割合



県内全発電所 線量区分別従事者数の割合

区分	線 量 分 布						合計
	<5mSv	5-10mSv	10-15mSv	15-20mSv	20-25mSv	25mSv<	
社 員 (人)	2,463	1	0	0	0	0	2,464
(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
請負等 (人)	12,847	43	7	0	0	0	12,897
(%)	99.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	100.0
計	15,310	44	7	0	0	0	15,361

(3) 1日1.0ミリシーベルトを超える被ばくを伴った作業

平成25度において、1日に1.0ミリシーベルトを超える被ばくを伴った作業はなかった

6. 原子炉設置変更許可連絡（安全協定 第6条）

○敦賀発電所

申請日 補正申請日 許可日	変更内容	変更理由・補正理由	工期 (開始～完了)
H16. 3. 30 申請	3、4号炉の増設 ・電気出力 153.8 万 kW の改良型加圧水型軽水炉を 2 基増設する。	3号および4号原子炉増設のため	営業運転開始 ^{※1} 3号機：H26.3 4号機：H27.3
H21. 10. 16 一部補正	申請書の本文及び添付書類の一部補正 ・新耐震指針の適用 ・上記変更に伴う安全解析等の見直し ・工程の変更の反映 ・審査での指摘の反映 ・指針類改訂等の反映 ・設計進捗状況の反映 ・データの更新	平成 18 年 9 月に改訂された「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」を適用した申請書とするため本文及び添付書類の一部補正が必要となったため	
H22. 12. 3 一部補正	申請書添付書類六の一部補正 ・原子炉建屋背後斜面の一部に対するアンカー補強に伴う記載の追加	安全審査の状況を踏まえ、申請書添付書類の一部補正が必要となったため	

注) 工期の開始および完了の年月は、原子炉設置変更許可の申請または許可時の予定を記載している。

※ 1 電気事業法に基づく供給計画に記載された営業運転開始時期

	3号機	4号機
平成 18 年度供給計画 (H18. 11. 28 変更)	平成 28 年 3 月	平成 29 年 3 月
平成 22 年度供給計画 (H23. 2. 2 変更)	平成 29 年 7 月	平成 30 年 7 月
平成 24 年度供給計画	今後の国におけるエネルギー政策、安全規制に係る状況等を踏まえ記載予定	今後の国におけるエネルギー政策、安全規制に係る状況等を踏まえ記載予定

○大飯発電所

申 請 日 補正申請日 許 可 日	変更内容	変更理由・補正理由	工期 (開始～完了)
H25. 7. 8 申 請	3、4号機の原子炉施設の変更 ・原子炉およびその付属施設の位置、 構造および設備 ・発電用原子炉の炉心の著しい損傷そ の他事故が発生した場合における当 該事故に対応するために必要な施設 および体制の整備に関する事項	核原料物質、核燃料物質及び原子炉 の規制に関する法律の改正に伴い、 重大事故等対処設備の設置及び体 制の整備等を行う。	3号機：H25.7 ～H25.12 4号機：H25.7 ～H25.12

○高浜発電所

申 請 日 補正申請日 許 可 日	変更内容	変更理由・補正理由	工期 (開始～完了)
H25. 7. 8 申 請	3、4号機の原子炉施設の変更 ・原子炉およびその付属施設の位置、 構造および設備 ・発電用原子炉の炉心の著しい損傷そ の他事故が発生した場合における当 該事故に対応するために必要な施設 および体制の整備に関する事項	核原料物質、核燃料物質及び原子炉 の規制に関する法律の改正に伴い、 重大事故等対処設備の設置及び体 制の整備等を行う。	3号機：H25.7 ～H25.12 4号機：H25.7 ～H25.12
H26.10.31 補 正 申 請	申請書の本文及び添付書類の一部補正 ・基準地震動や基準津波等の変更を反映 した記載とする。 ・重大事故等に対処するために必要な手 順や体制に係る記載を追加する。 ・自然現象（竜巻、火山の影響等）に係 る設計条件を変更する。 ・その他、審査内容を踏まえた追加対策 等を記載する。	既申請書の記載内容に適正化の必 要性が生じたため。	3号機：H25.7 ～H27.1 4号機：H25.7 ～H27.1

7. 敷地利用計画（変更）連絡（安全協定 第6条）

a. 敦賀発電所

なし

b. 美浜発電所

号機	設置・施設	運用開始	設置場所	施設・設備内容	設 置 理 由
—	美浜発電所 予備変圧器および 開閉所設備の建物	H26. 3. 31	発電所構内	予備変圧器および開閉所 設備の建物	福島第一原子力発電所事故を踏まえた外部電源、発電所受電設備の強化対策として、予備変圧器の取替えを行う。また、予備変圧器および開閉所設備の屋内化のため、建屋を新設する。

c. 大飯発電所

号機	設置・施設	運用開始	設置場所	施設・設備内容	設 置 理 由
—	大飯発電所 予備変圧器および 開閉所設備	H26. 3. 31	発電所構内	予備変圧器および開閉所 設備	福島第一原子力発電所事故を踏まえた外部電源、発電所受電設備の強化対策として、No. 1 予備変圧器の高台への移設および基礎を設置する。また、No. 2 予備変圧器の周囲に防潮堤を設置する。

d. 高浜発電所

なし

e. 高速増殖原型炉もんじゅ

なし

f. 原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）

なし

8. 基本規定制定（変更）連絡（安全協定 第6条）

発電所名	認可日	改正期日	変更理由
敦賀発電所	H25. 6. 28	H25. 7. 2	・飛地管理区域入域者の電子式個人線量計未着用防止対策に伴う変更 ・原子炉建屋の水密扉設置に伴う管理区域変更 ・使用済樹脂・フィルタスラッジ分解固化試験に伴う変更 ・原子力規制委員会設置法施行に伴う変更 ・一般社団法人原子力安全推進協会設立に伴う変更
	H26. 1. 28	H26. 1. 30	・原子力規制委員会設置法の一部施行に伴う関係規則の反映に伴う変更 ・記載の適正化に伴う変更
高速増速炉 もんじゅ	H25. 3. 29	H25. 4. 8	・経済産業省原子力安全・保安院指示に基づき、事故由来放射性物質の降下物の影響確認を追加 ・原子力規制委員会設置法施行に伴う見直し
原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)	H25. 12. 10	H25. 12. 19	・省令改正に伴う変更 ・記載の適正化を行うため変更

9. 異常発生・終結連絡（安全協定 第7条）

（1）安全協定に基づく異常事象

平成 25 年度に安全協定に基づき異常事象として報告された件数は 3 件（うち法律対象 0 件）で、前年度（平成 24 年度）の 4 件から 1 件減少した。いずれの事象においても、周辺環境への放射能の影響はなかった。

異常事象として、発電所の運転に影響を与えたものはなく、故障等が 2 件、労働災害が 1 件あった。

平成 25 年度安全協定に基づく異常事象報告一覧

件 番	発 電 所 名	発 生 日	事象発生時 運 転 状 況	事 象 概 要	影響等	国への報告区分 評価尺度
		終 結 日				
1	ふげん	H25. 4. 18	廃止措置中	C－濃縮廃液貯蔵タンク下部の配 管接続部分の付着物	—	—
		H25. 9. 12				—
2	もんじゅ	H25. 4. 30	建設中	C－非常用ディーゼル発電機試運 転時における保安規定の運転上の 制限の逸脱	—	—
		H25. 7. 24				—
3	大飯発電所	H26. 2. 18	定期検査中	物揚岸壁補強工事における協力会社作業 員の負傷	—	—
		H26. 4. 4				—

発電所別発生状況

年月 発電所名	平成 25 年									平成 26 年			平成 25 年度 発電所別 合計件数
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
敦賀 1 号機													0
敦賀 2 号機													0
ふ げ ん	①												1
もんじゅ	②												1
美浜 1 号機													0
美浜 2 号機													0
美浜 3 号機													0
大飯 1 号機											③		1
大飯 2 号機													0
大飯 3 号機													0
大飯 4 号機													0
高浜 1 号機													0
高浜 2 号機													0
高浜 3 号機													0
高浜 4 号機													0
月 別 合計件数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3

注 1 ; 異常事象発生日を基準とし、○内の数字は次ページ以降の異常事象件番を示す。

注 2 ; ____は労働災害を表す。

件番	1			
発電所名	ふげん			
発生事象名	C－濃縮廃液貯蔵タンク下部の配管接続部分の付着物			
発生年月日	平成 25 年 4 月 18 日（異常事象に該当すると判断した日）			
終結年月日	平成 25 年 9 月 12 日（対策が完了した日）			
発生時プラント状況	廃止措置中			
系統設備名	－			
国への報告区分	－			
尺度区分	基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
	－	－	－	－
事象概要	4 月 18 日 10 時 20 分頃、原子炉補助建屋の特別巡視※¹（1 回／月）において、廃棄物処理室地下 1 階にある C－濃縮廃液貯蔵タンク※²下部の加温用蒸気出口配管※³保温材カバーと床面に変色があることを確認した。 保温材を取り外して確認したところ、同タンクの加温用蒸気出口配管フランジ部付近に固形状の付着物が認められ、元素分析の結果、濃縮廃液貯蔵タンクに貯蔵されている内容物（主成分は硫酸ナトリウム）が確認されたため、タンク内容物が漏えいし、固化したものと推定された。 付着物は数グラム程度で、その放射能濃度は、タンク内の廃液濃度（Co-60 濃度：約 $5.2 \times 103 \text{Bq/cm}^3$）よりも低い値（Co-60 濃度：約 4.4Bq/g）であった。 この事象による周辺環境への放射能の影響はない。 ※ 1 通常の管理区域より線量当量率が高く、施錠管理により立入制限している区域の巡視 ※ 2 放射性廃液を蒸発濃縮処理し、それにより発生した濃縮廃液を貯蔵するタンク（3 基：30m³） ※ 3 濃縮廃液貯蔵タンク内の濃縮廃液を加温するための蒸気を通る配管			
原因	蒸気出口配管フランジ部のゴムライニングシートの復元力低下が、熱の影響で早く進行し、フランジと管台の間の面圧が除々に低下したことから、シール面表面部に濃縮廃液がにじみ込んで漏えいしたものと推定された。			
対策	ハード面の対策として、ゴムライニングの復元力低下に伴う面圧低下を補うことができるシリコンガスケットに変更することで、フランジ部のシール性を向上させた。 また、ソフト面の対策として、年 1 回の外観点検時に熱影響を受けるタンクのフランジ部のボルト締め付けを確認し、規定トルクであることを確認することと、タンク解放点検時に全フランジの分解点検を行い、ガスケットの交換やライニングシート面の補修を行うことを、要領書に反映した。			

件番	2			
発電所名	もんじゅ			
発生事象名	C－非常用ディーゼル発電機試運転時における保安規定の運転上の制限の逸脱			
発生年月日	平成 25 年 4 月 30 日（異常事象に該当すると判断した日）			
終結年月日	平成 25 年 7 月 24 日（対策が完了した日）			
発生時プラント状況	建設中			
系統設備名	－			
国への報告区分	－			
尺度区分	基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
	－	－	－	－
事象概要	もんじゅは、現在、低温停止中であるが、3 台（A、B、C）あるディーゼル発電機のうち、C 号機の定期試験（1 回／月）を行うため、平成 25 年 4 月 30 日 14 時 23 分に同発電機を起動させたところ、インジケータコック※¹（12 個中 6 個）付近から黒煙が発生したため直ちに手動停止した。これにより同発電機が動作不能と判断し、同日 14 時 32 分、保安規定に定める運転上の制限※²を満足していないものと判断した。 外観点検の結果、黒煙が発生した 6 個のインジケータコックの排気出口周辺に黒いすすが付着している以外に異常は認められなかったことから、起動時に閉状態であるべきインジケータコックが開状態となっていたため、シリンダ内での燃焼に伴い発生した黒煙が排出されたものと推定された。 その後、5 月 1 日に同発電機の試運転を行い運転状態に問題ないことを確認し、同日 22 時 47 分に待機状態（運転上の制限を満足した状態）に復帰した。 この事象による周辺環境への放射能の影響はない。 ※ 1 ディーゼル発電機の起動前の準備として、ディーゼル機関のシリンダ（12 気筒）内のガスを排出する際に使用する弁。各シリンダに 1 個付いている。 ※ 2 低温停止中は、非常用ディーゼル発電機が 2 台動作可能であることが求められている。 今回、B ディーゼル発電機が点検中であり、動作可能状態であるのは、A ディーゼル発電機 1 台のみとなり、この要求事項を満足していない。			
原因	インジケータコックが開状態となっていた原因は、当該コックを操作した運転員がコックを閉方向に回すところを逆に回していたこと、また、操作完了後に他の運転員が当該コックを確認した際、閉方向に締め込まれているものと誤認したためと推定された。			
対策	対策として、開、閉それぞれに一方向にしか回らない専用の工具を使用するとともに、操作者と確認者が開閉方向を認識できるようにコック近傍に開閉方向の表示を設置した。			

件番	3			
発電所名	大飯発電所			
発生事象名	物揚岸壁補強工事における協力会社作業員の負傷について			
発生年月日	平成 26 年 2 月 18 日（異常事象に該当すると判断した日）			
終結年月日	平成 26 年 4 月 4 日（対策が完了した日）			
発生時プラント状況	定期検査中			
系統設備名	—			
国への報告区分	—			
尺度区分	基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
	—	—	—	—
事象概要	平成 26 年 2 月 18 日 14 時 17 分頃、大飯発電所において、物揚岸壁※補強工事で発生する汚泥を排出する水中ポンプの吸込状態確認を行っていた作業員が、左足を巻き込まれ負傷した。搬送した病院での診察の結果、約 2 ヶ月の入院・加療が必要と診断された。 当該工事は、地震発生時に物揚岸壁が液状化して使用できなくなることを防ぐために、地盤にセメントを注入して補強する工事であり、当該作業員は、この工事で発生する汚泥を排出する水中ポンプの吸込状態を確認する作業に従事していた。 聞き取り調査の結果、当該作業員および同作業に従事していた別の作業員 1 名は、ポンプ吸込口を覆っている格子状の保護カバーに汚泥中の土石が詰まり、頻繁に吸込みが悪くなったため、作業責任者へ連絡せずに、保護カバーを取り外していた。その後、保護カバーを取り外した状態でポンプを運転していたところ、再び吸込みが悪くなったため、当該作業員は、ポンプの状態を確認しようと近づき、水流により左足を吸い込まれた。 ※ 機材の搬入等に使用する発電所内の港			
原因	原因は、同ポンプの吸込口保護カバーを取り外した状態で運転していたことに加え、作業員がポンプを動かしたまま近づいたことにより、左足を吸い込まれたためと推定された。			
対策	作業手順書に、ポンプの保護カバーを取り外して使用しないこと、ポンプの確認作業等のために近づく際はポンプを停止すること等を明記し、作業関係者全員に周知するとともに、実際の作業でポンプに近づく際には、チェックシートを用いてポンプの停止等を確認することとした。 また、作業員が運転中のポンプに容易に近づくことがないよう、ポンプ配置エリアに外周カバーや立ち入り禁止柵を設置することとした。			

(2) 保守運営状況(月報)で報告された軽微な事象(平成 25 年度)

安全協定第 7 条に基づく異常事象の連絡以外に、軽微な事象についても事業者側から連絡を受け、安全協定第 6 条の「保守運営状況」等により毎月報告を受けている。

a. 敦賀発電所

発生年月日	区 分	事 象 概 要
H26. 2. 9 (2 号機)	定期検査中	炉内温度計用引出管の折損 原子炉容器内の炉心出口の水温を測定している炉内温度計の引出管 1 本が、継手部で折損していることを確認した。他の 49 本の引出管に異常はなく、炉内温度計および原子炉容器内の構造物にも影響はないことから、原子炉の安全性に影響を与えるものではない。 調査のため温度計を引き抜き、当該引出管を水中で切断し回収する作業を行ったところ、引出管サポート部においても折損していることを確認した。 調査の結果、引出管の破面に疲労割れに特有な模様が確認されたことや疲労試験等の結果から、引出管はプラントの起動時や停止時など、冷却材の温度が低い状態で 1 次冷却材ポンプ (4 台) を運転した期間に冷却材の流れを受けて振動し、疲労割れが発生したものと推定された。 対策として、当該引出管および炉内温度計は使用しないこととした。 また、切断後に残った当該引出管及び 49 本の引出管について疲労評価を行った結果、冷却材の流れを受けても振動しにくく、同様な折損は起こらないと評価された。 なお、運転時の原子炉の制御は、炉内温度計とは別に設置している原子炉容器入口と出口の温度計により行われていることから、炉内温度計を 1 本撤去しても原子炉の運転に影響を与えるものではない。
H26. 3. 19 (1 号機)	定期検査中	廃液濃縮器 D 洗浄水ドレン配管の損傷 敦賀発電所 1 号機において、液体廃棄物処理設備の点検中に、廃液濃縮器 D 洗浄水ドレン配管の保温材から水の滴下が確認され、当該配管にてひび割れが見つかった。滴下した水については、全量を回収しており、本件による環境への放射能の影響はない。 調査の結果、当該配管は、廃液濃縮器 D で濃縮処理した廃液を濃縮廃液貯蔵タンクへ移送する配管より分岐し、立ち上がった位置にあり、下流の弁は閉じていることから、廃液移送時に当該配管に流れ込んだ廃液の一部が滞留しやすい状態であった。そのため、廃液移送後に残った廃液が乾燥することを繰り返し、廃液に含まれる塩素成分が濃縮したことで、腐食が発生・進展し、ひび割れに至ったと推定された。 対策として、当該配管については取替えを実施するとともに、廃液濃縮器 D の廃液移送後は、当該配管下流の弁を開き、洗浄することで廃液の滞留を防ぐ手順を追加した。

b. 大飯発電所

発生年月日	区 分	事 象 概 要
H25. 8.19 (2号機)	定期検査中	Aー非常用ディーゼル発電機燃料油配管からのわずかな油漏れ 第24回定期検査中の8月19日、燃料油貯油槽とAー非常用ディーゼル発電機(AーDG)燃料油サービスタンクをつないでいる配管のトレンチ内にある燃料油配管から燃料油がわずかに漏えい(約3滴/分)していることを確認した。 その後、AーDGを待機除外にした上で、漏えいした燃料油配管の隔離等を実施し、トレンチ内に溜まっている燃料油の拭き取りを実施した。 原因は、AーDG室建屋壁から伝い落ちた雨水等が、建屋壁とトレンチ蓋の隙間およびトレンチ蓋のケーブル等貫通用の開口部からトレンチ内に入り、雨水浸入防止処置が不十分であった箇所から保温材の内部に浸入し、湿潤状態となった結果、長時間かけて配管外面から腐食、減肉し、漏えいに至ったものと推定された。 対策として、当該配管を新品に取り換えた。また、保温材と壁貫通部の隙間の雨水浸入防止処置を確実にを行い、当該配管上部のトレンチ蓋とAーDG室建屋壁の隙間およびトレンチ蓋開口部についても雨水浸入防止処置を実施した。
H25. 9. 2 (3号機)	運 転 中 (出力降下中)	出力降下中における一時的な運転上の制限逸脱 第16回定期検査に向けた出力降下中の9月2日18時19分、炉心の出力が不均一になったことを示す警報(1/4中性子束偏差大)が発信したため、保安規定に定める運転上の制限を逸脱したと判断した。 保安規定では、運転上の制限から逸脱した場合の対処の一つとして原子炉出力を降下させる手順となっているため、そのまま出力降下作業を継続し、19時35分、原子炉出力が50%以下となったことにより、運転上の制限の逸脱から復帰した。 原因は、炉内に設置している4つの検出器のうち、警報が発信した検出器の指示値が、他の検出器と比べ出力降下前から僅かに高い値で推移し、出力降下時にこの差が顕著に現れたこと等により、一時的に警報が発信したものと推定された。 対策として、定期検査で出力を降下する前には、事前に検出器指示値を確認し、各検出器指示値が前回校正した値より大きい場合には、検出器の校正を実施することとした。

c. 高浜発電所

発生年月日	区 分	事 象 概 要
H25. 9. 5 (3号機)	定期検査中	低圧タービングランド部からの蒸気漏れ 第16回定期検査中の9月5日、2次系のグラント蒸気系統の隔離操作を実施していたところ、中央制御室のタービン発電機消火装置受信盤に「3号低圧タービン部火災」の警報が発信した。 TVカメラにより確認したところ、低圧タービングランド部（ガバナ側）から蒸気が漏れていたため速やかに蒸気止め弁を閉止した結果、漏れは停止した。 原因は、隔離操作手順書では現場担当の運転員がグラント蒸気供給弁を閉止し補助蒸気を止めた後、中央制御室担当の当該運転員が中央制御室の操作スイッチにより同弁下流側にあるグラント蒸気止め弁を開放する手順となっていたが、中央制御室担当の運転員は、グラント蒸気系統は既に停止していたこともあり、グラント蒸気止め弁を先に開放しても補助蒸気が流れるとは思わず、手順どおりに隔離操作を実施しなかったことにより蒸気が漏れたものであった。 対策として、全所員に手順遵守や作業者間の連携などの基本について再徹底を実施するとともに、発電室の隔離操作に関して、操作前確認シートに、他の系統の境界となる弁の操作に関する注意事項を記載し、関係者全員で再確認することとした。
H25. 8. 22 (1号機)	定期検査中	管理区域内における一時的な個人線量計の不着用 第27回定期検査中の8月22日、管理区域内において、雑固体廃棄物固型化処理業務に従事していた協力会社社員が給水所へ入り飲水した際、警報付きデジタル線量計およびガラスバッジを給水所に置き忘れ、不着用のまま作業場所に移動した。 個人線量計を着用していなかった約20分間の当該協力会社社員の被ばく線量については、作業を行っていなかったこと、また同一行動をとっていた他の協力会社社員の被ばく線量が0.00ミリシーベルトであったことから、0.00ミリシーベルトと評価した。 原因は、給水所入口に個人線量計の取り外し禁止の注意喚起がなかったことから、給水所モニタで汚染検査をする際、発電所の管理区域の退出モニタでの測定時と同様に、着用していた個人線量計を取り外し、給水所モニタの扉内側のトレイに置いて測定した後、個人線量計を給水所内の机に置いて飲水し、再着用することなく作業場所に移動したものと推定された。 対策として、管理区域内では給水所を含め、入域から退域までの間、個人線量計の取外しを禁止する旨の注意書き、およびポスターを提示し、給水所出口に注意喚起の音声を流すセンサーボイスを設置するとともに、給水所モニタの扉内側トレイを使用できないようにした。 また、各協力会社社員および当発電所所員へ事象の周知、管理区域内における基本ルールの再徹底を行った。

d. もんじゅ

発生年月日	区 分	事 象 概 要
H25. 9. 18	建設中	炉外燃料貯蔵設備ガスサンプリング型ナトリウム漏えい検出器の指示値低下による運転上の制限の逸脱 9月18日11時10分頃、中央制御室において、炉外燃料貯蔵槽本体及び同機器が設置されている室内のナトリウム漏えいを監視している差圧式ナトリウム漏えい検出器(DPD)の差圧が低下していることを確認した。 現場を確認したところ DPD 入口のサンプリング配管の手動弁が閉まっていたため、11時35分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言した。 その後、復旧作業として当該手動弁を開けてサンプリングポンプを起動し、DPD の差圧が復帰したことを確認したことから、12時32分、運転上の制限の逸脱からの復帰を宣言した。 なお、DPD の差圧が低下していた間も炉外燃料貯蔵槽のナトリウム液位計によりナトリウム漏えいの監視を継続しており、異常はなかった。 調査の結果、DPD サンプリング配管回りの保温材取付作業を行っていた作業員の安全帯のロープが当該弁の開閉用レバーに引っ掛かり、当該弁が閉となったものと推定された。 再発防止対策として、安全帯のロープは、使用時以外は垂れ下がらない処置の実施を周知・徹底するとともに、レバー操作で開閉が可能な弁の近傍で作業をする場合は、レバーを治具等で固定するなどの措置を講じた。

e. ふげん

発生年月日	区 分	事 象 概 要
H25. 12. 2	廃止措置中	廃棄物処理室地下1階における漏えい検出器の警報発報 原子炉補助建屋廃棄物処理室（管理区域）において、1階床面に設置されたファンネル（排水口）の通水確認のため、約100リットルの水を流したところ、地下1階の特別立入制限区域のファンネルから水が溢れ、漏えい検出器が動作した。ファンネルから溢れた水に汚染はなく、本事故による環境への影響はなかった。 原因については、ファンネルの配管系統図が現場と整合していなかったため、地下1階の詰まり気味のファンネルに水が流れ、溢れたものと判明した。 対策として、当該ファンネルの清掃と配管系統図の修正を実施し、すべての排水ラインについて現場と系統図が整合していることを確認した。 また、特別立入制限区域外から区域内のファンネルに流入するドレン配管については、サンプピットに直接排水する等、特別立入制限区域内のファンネルに流入させないよう排水ラインを変更した。

(3) 保守運営状況(月報)で報告された労働災害(平成 25 年度)

・労働安全衛生規則 第 97 条第 1 項に該当する労働災害

発生日時	発生場所	事象概要	原因・対策
H25. 9. 14 14:53 頃	高浜発電所 ----- 第二北門 守衛所	第二北門守衛所で車両の出入監視業務に従事中のところ、大型トレーラーを発電所構内へ入域させる際、右手で移動させていた車両阻止アングルが大型トレーラーとの後輪と接触した。この接触の影響で車両阻止アングルが倒れ右アキレス腱付近に当たり負傷した。	【原因】 ・発電所構内から退域する別の車両に気を取られ、大型トレーラーの通行状況を十分に確認せず車両阻止アングル後移動させたためによるものと推定された。 【対策】 ・全防護隊員に対して事象を周知するとともに、車両阻止アングルの操作要領に移動時の注意事項を明確にした。
H25. 11. 7 17:30 頃	高浜発電所 ----- 取水路 内浦大橋橋脚 付近	取水路付近での警備業務から移動中のところ、内浦大橋橋脚付近で段差(1 m)を飛び降りた際に、左足をひねり負傷した。	【原因】 ・平成 25 年 10 月以降、当該ルートを通ることを認めていたが、辺りが薄暗い中、安全対策が施されていない橋脚部の段差を安易に飛び降りたことによるものと推定された。 【対策】 ・別のルートを使用し移動することとした。 ・本事象を踏まえた安全作業の再徹底について、安全衛生協議会各社に周知するとともに、念のため橋脚部に踏み台を設置した。

発生日時	発生場所	事象概要	原因・対策
H26. 2. 18 14:17	大飯発電所	物揚岸壁付近の地盤改良工事において、工事に伴い生じる汚泥を排出するポンプの吸込確認作業に従事していた作業員が、吸込能力が低下したポンプの状態確認のため近づいたところ、左足をポンプに巻き込まれ負傷した。	【原因】 ・ポンプを通常とは異なり、吸込み口保護カバーを外した状態で運転していたこと、および、ポンプの点検の際に電源を切らずに近づいたことによるものと推定された。 【対策】 ・ポンプの保護カバーを外さないことや、点検等のために近づく際には電源を切ること等を作業指示書等に明記して作業員に周知した。 ・作業手順書にない作業が必要になった場合は、まず立ち止まり作業責任者へ報告・連絡・相談することを徹底した。 ・運転中のポンプに容易に近づく事ができないよう「立ち入り禁止柵」や汚泥排出用ポンプ外周カバーを設置した。
	物揚岸壁		
H26. 2. 27 19:15	美浜発電所	立入制限区域監視装置のセンタ調整作業を終了し、事務所に戻る途中、下り斜面で足が滑り転倒した。その際、フェンス基礎部の角に左手を打ち付け、左手小指を負傷した。	【原因】 ・作業が完了した後に斜面を下っていたところ、雨により湿っていた土で足を滑らせたことから、転倒、被災したものと推定された。 【対策】 ・斜面の移動を伴う作業については、防保護具を確実に着用することとした。 ・作業計画書の注意事項欄に「斜面の移動時は手元足元に十分注意する等」の記載を追加すること等を実施することとした。
	3号機背面山中		

発生日時	発生場所	事象概要	原因・対策
H26. 3. 12 14:00 頃	もんじゅ	外部からの侵入に対する防犯対策を確認していた職員が、屋外フェンス頂部より飛び降りた際に、両足踵骨を骨折した。	【原因】 ・飛び降り可能な高さの設定や着地点に緩衝剤設置などの安全上の検討が不十分であった。 【対策】 ・飛び降り可能な高さ制限、着地点への緩衝剤の設置、実施方法の変更などの安全対策を適切に講じた。
	屋外フェンス付近		
H26. 3. 23 10:08 頃	敦賀発電所	核物質防護設備に係る現場状況の確認をするため斜面を移動していたところ、斜面中断付近で足を滑らせ、足首を負傷した。	【原因】 ・当該構内斜面が、雨により湿った状態となっていたことから、足を滑らせたと推定された。 【対策】 ・当該構内斜面に木製の滑り止め材を階段状に設置した。 ・警備設備の保守点検に必要なアクセスルートおよびルート中の危険箇所を抽出し、安全対策を講じた。
	屋外斜面		
H26. 3. 28 1:00 頃	もんじゅ	原子炉補助建物を巡視していた運転員が、移動中に階段を踏み外し、右足首を骨折した。	【対策】 ・当該箇所緑色の滑り止めテープを張り、識別表示を行った。 ・水平展開として、類似箇所に同様の処置を行った。
	原子炉補助建屋		

- ・労働安全衛生規則 第 97 条第 2 項に該当する労働災害なし

《参考》

労働安全衛生規則

(労働者死傷病報告)

第九十七条 事業者は、労働者が労働災害その他就業中又は事業場内若しくはその附属建設物内における負傷、窒息又は急性中毒により死亡し、又は休業したときは、遅滞なく、様式第二十三号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

2 前項の場合において、休業の日数が四日に満たないときは、事業者は、同項の規定にかかわらず、一月から三月まで、四月から六月まで、七月から九月まで及び十月から十二月までの期間における当該事実について、様式第二十四号による報告書をそれぞれの期間における最後の月の翌月末日までに、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

(4) 保守運営状況(月報)で報告されたその他の事象(平成 25 年度)

保守運営に関わる事項については、安全協定第 7 条に基づく異常事象の連絡以外にも、安全協定第 6 条の「保守運営状況」等に基づき、事業者から報告を受けている。

a. 敦賀発電所

発生年月日	事 象 概 要
H25. 8. 24 (1 号機)	新廃棄物処理建屋への雨水侵入 7 時 10 分頃、敦賀発電所 1 号機新廃棄物処理建屋地下 1 階（管理区域）において、床面に水溜り（141 リットル）があることを確認した。 床面の上部を確認したところ、当該建屋内の補助蒸気配管貫通部からにじみがあり、点検の結果、屋外の補助蒸気配管トレンチの雨水が、補助蒸気配管貫通部から建屋内に侵入したことが判明した。 発電所周辺の激しい降雨により、当該トレンチの排水が追い付かず、補助蒸気配管の敷設高さまで水位が上昇し、当該トレンチの雨水が、補助蒸気配管貫通部から建屋内に侵入したものと推定された。 建屋内に侵入した雨水はふき取りを行い、補助蒸気配管貫通部はシールの再施行を行った。 今後は、類似の貫通部も含めて計画的な点検を実施することとした。 なお、本事象による設備及び周辺環境への影響はない。

b. 大飯発電所

発生年月日	事 象 概 要
H25. 5. 17 (3 号機)	復水器内部の清掃に伴う出力抑制 定格熱出力一定運転中のところ、2 系列（A・B）ある復水器のうち、B 系列の冷却用海水流量に、緩やかな低下傾向が認められた。 原因は、復水器内部への貝等の海生物の付着によるものと推定されたため、5 月 17 日 9 時 00 分より出力降下を開始し、80%出力到達後、復水器 B 系統への海水の通水を止めたうえで、復水器内部の清掃作業を実施した。 当該作業において貝等の海生物を約 3 トン除去した後、復水器 B 系列への海水の通水、出力上昇を行い、5 月 24 日 3 時 40 分に定格熱出力一定運転に復帰した。

c. 高浜発電所

発生年月日	事 象 概 要
H26. 3. 5 (3 号機)	原子炉補助建屋における作業用変圧器からの発火 15 時 44 分頃、原子炉補機冷却水ポンプ・クーラ室内で作業用変圧器からの発火を確認したため、同時刻に消火器にて消火した。 原因は、当該変圧器の定格電流を超過した状態で長時間使用したことから、当該変圧器の発火に至ったものと推定された。 対策として、事前に負荷電流が定格電流を超過しないことを確認するよう協力会社に周知徹底した。

d. 高速増殖原型炉もんじゅ

発生年月日	事 象 概 要
H25. 9. 16	台風 18 号による土砂崩れの影響等 2 時 58 分頃、「もんじゅトンネル入口部（白木側）」で、台風 18 号の影響により土砂崩れが発生した（大雨特別警報発令中）。 土砂崩れにより、トンネル入口部の道路が土砂と倒木で埋まり、車両による通行が不可能となったが、16 時 30 分に車両による入構が可能となった。 本土砂崩れによるもんじゅ施設への影響はない。 なお、S P D S の信号が受信側で受信できない状況となり、ファックス等でデータ送信を行っていたが、ケーブルの張り替え作業を実施し、9 月 17 日 20 時 49 分、E R S S へのデータ受信が復旧した。
H25. 11. 1	平成 25 年度核物質防護検査への対応 平成 25 年 7 月 9 日から 12 日にかけて、原子力規制委員会による核物質防護検査を受けたところ、原子力規制庁より核物質防護規定違反の疑いがある事案として次の 4 件の指摘を受けた。 ① 立入制限区域の柵等の障壁の高さが不十分 ② 入域時の身分確認の際に身分証明書の写しを一部未取得 ③ 核物質防護設備の適切な定期点検の未実施 ④ 核物質防護措置の定期的な評価及び改善の未実施 これらの指摘事項に対し、是正措置に早急に取り組み、是正措置が完了したことについて原子力規制庁の確認を得たことから、平成 25 年 11 月 1 日に発表した。 平成 25 年 11 月 6 日、これら指摘事項に対して原子力規制委員会より核物質防護規定遵守義務違反に係る嚴重注意文書を受領した。

e. 原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）

発生年月日	事 象 概 要
H25. 6. 30	B－原子炉補機冷却海水ポンプの軸受温度高による手動停止 13 時 25 分頃、B－原子炉補機冷却海水ポンプの「海水ポンプ軸受温度高（80℃）」の警報が発生し、当該警報に係る温度記録計を確認したところ、当該ポンプのモータ上部温度の警報ランプが点灯し、約 91℃を記録していた。 現場（屋外）にて運転状態を確認したところ、モータから異音、異臭（油のにおい）が発生し始め、モータ上部の温度計も 100℃を超えていたため、13 時 38 分に手動停止した。 原因は、潤滑油不足によるモータ軸受の損傷と推定された。また、巡視や外観点検のマニュアルにおいて、潤滑油が適量かどうかを判断する基準が記載されていなかった。 対策として、モータの油面計に潤滑油の判断基準を示す印を付け、点検マニュアルに反映した。

e. 原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）（つづき）

発生年月日	事 象 概 要
H25. 12. 6	管理区域外での飲料水の漏えい 原子炉補助建屋2階の換気空調室で、給水給湯設備の循環ポンプ及びストレーナの交換作業中に循環ポンプ入口付近の塩化ビニール製の配管（以下、「塩ビ管」とする。）が破損し、飲料水（約400リットル）が漏えいした。漏えいした飲料水については、拭き取り回収を実施した。 原因は、循環ポンプ取り外し後、ストレーナ出口側のフランジ付の短管を作業員が工具を用いて取り外す際、別の作業員が工具を用いてストレーナを抑えていたものの、両作業員の力加減の差により、循環ポンプ入口弁付近の塩ビ配管に過大な力がかかり、破損したと推定した。 対策として、ストレーナや循環ポンプ入口弁の交換の際、塩ビ配管に過大な力がかからないよう、容易に取り外しができるフランジ取り合いに変更するとともに、塩ビ配管取扱作業における注意事項をマニュアルに反映した。

f. 自然要因等による出力変動

なし

10. 実証試験実績 なし

11. 記者発表件名簿(平成25年度)

件番	発表年月日	発表時刻	発表方式	発表題名
1	平成25年4月9日	15時	資料配付	福井県内の原子力発電所の運転実績等について(平成24年度)
2	平成25年4月11日	14時	資料配付	高浜発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について
3	平成25年5月2日	10時	資料配付	大飯発電所3号機の新燃料輸送について
4	平成25年5月9日	15時30分	資料配付	大飯発電所3号機 復水器内部の清掃に伴う計画的な出力降下について
5	平成25年5月10日	15時	資料配付	大飯発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について
6	平成25年5月14日	10時	資料配付	美浜発電所3号機の新燃料輸送について
7	平成25年5月17日	10時	資料配付	美浜発電所3号機の新燃料輸送について
8	平成25年6月20日	15時	資料配付	美浜発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について
9	平成25年6月26日	10時	資料配付	大飯発電所3号機の新燃料輸送について
10	平成25年6月27日	10時	資料配付	高浜発電所3号機用MOX新燃料輸送容器の県による放射線量率測定について
11	平成25年6月27日	18時15分	資料配付	高浜発電所3号機のMOX新燃料輸送について
12	平成25年6月27日	18時15分	資料配付	県によるMOX新燃料輸送容器の放射線量率の測定結果について
13	平成25年7月8日	13時	資料配付	大飯発電所および高浜発電所の原子炉設置変更許可申請について (大飯3、4号機および高浜3、4号機の新規制基準への対応)
14	平成25年7月12日	10時	資料配付	大飯発電所4号機の新燃料輸送について
15	平成25年7月26日	16時	資料配付	第183回 福井県原子力環境安全管理協議会の開催について
16	平成25年8月30日	15時	資料配付	大飯発電所3号機の第16回定期検査開始について
17	平成25年8月30日	15時	資料配付	原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)の第26回定期検査開始について
18	平成25年9月13日	15時	資料配付	大飯発電所4号機の第15回定期検査開始について
19	平成25年10月10日	11時	資料配付	高浜発電所4号機の新燃料輸送について
20	平成25年11月5日	16時	資料配付	第184回 福井県原子力環境安全管理協議会の開催について
21	平成25年11月12日	18時	資料配付	高浜発電所1号機の高経年化技術評価書(冷温停止状態の維持)について
22	平成25年11月14日	10時	資料配付	大飯発電所3号機の新燃料輸送について
23	平成25年11月22日	10時	資料配付	高浜発電所3号機の新燃料輸送について
24	平成25年12月4日	10時	資料配付	大飯発電所4号機の新燃料輸送について
25	平成26年1月7日	15時	資料配付	県内原子力発電所の2013年(平成25年;暦年)稼働実績について
26	平成26年1月10日	15時	資料配付	第185回 福井県原子力環境安全管理協議会の開催について
27	平成26年1月15日	15時	資料配付	高浜発電所3号機の高経年化技術評価書について
28	平成26年1月20日	14時	資料配付	原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)の第26回定期検査の終了について
29	平成26年3月26日	16時	資料配付	第186回 福井県原子力環境安全管理協議会の開催について